

大井町まちづくり会議における検討の概要

10月27日(火) 第1回ワークショップ

検討課題「大井町の良いところ」「悪いところ」

- 『良いところ』・・・「町民性」(人情味、穏やか等)
 「自然環境」(里山、富士山がみえる、気候温暖等)
 「子育て環境」(幼稚園充実、給食、施設)
 「町民活動」(自治会活動、小サークル活動、お祭りや行事活発)
- 『悪いところ』・・・「商工業」(育成の立ち遅れ、跡地問題、第一生命移転)
 「住環境」(公共交通、道が狭い等)
 「町民活動」(自治会間連携少)
 「観光事業」(集客施設がない、観光の目玉になるものが少ない)

11月10日(火) 第2回ワークショップ

検討課題「良いところをどう伸ばしていくか」「悪いところをどう改善していくか」
 「行政がやるべきこと」「住民にできること」の検討

【伸ばしていくところ】	【改善していくところ】
子育てしやすい	自治会間連携
治安が良い	跡地利用
町の行事が豊富で活発な活動	耕作放棄地
交通アクセスのよさ	公共交通
自然環境に恵まれている	道路
	相和地区
	観光振興

12月15日(火) 第3回ワークショップ

検討課題：「大井町が目指すまちの姿」、「次の総合計画で重点的に取り組むこと」の検討

【キーワード】

『人・協働・環境』+『安全・安心』+『観光』+『農業・自然』

行政は、町民が活躍できる『仕組み』や『場』を提供する。

町民は、『参加・協力』をする。

今ある『自然』等の、大井町の資産を再認識して、今後のまちづくりに活かすことを考える。